

第 218 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会・例会の議事録

部会長 村山元理

日時 平成 29 年 4 月 24 日（月）18:00～20:00

場所 日本経営道協会・企業家ミュージアム

東京都千代田区外神田 2-2-19 丸和ビル 2 階 Tel 03-5256-7500

アクセス <http://www.csm.or.jp/WP29/wp-content/uploads/2016/08/access-map.jpg>

参加者 宇佐神・山本・佐藤・古山・辻井・市川・緒賀・望月・小野瀬拓・宇田理・村山 11 名

欠席連絡 新川・長塚

議題

- ・「残すべき企業家の精神とは何か―企業家殿堂の選定をめぐる」村山

企業家ミュージアムを支援する小野瀬先生（駒沢大）、宇田先生（日大）にも参加してもらい、村山から報告。二先生の自己紹介、参加会員の自己紹介が冒頭に。村山からペーパーに基づき、大阪企業家ミュージアムとの対比、企業家（entrepreneur）の定義、イノベーションとの関連を言及。この企業家ミュージアムでの企業家殿堂の選定についての基準項目 4 つを提示し、20 名の候補を選んだ理由の説明。企業家が企業家に影響を与えていることを浮彫りにした。

質問・意見：北米では殿堂入りする企業家という概念すらなく、企業家は強欲・独占欲が強いとみなされている。4 条件すべてを加味することは難しい、2 つ以上ではどうか。ダイエー中内功は流通革命を起こし流通史では有名だ。他方でダイエーの倒産で多大な迷惑があったことから候補としていかがか？。理念の背後にある出身地の地域や風土についても調べるべきである。日本の伝統的価値観だとキリスト教は入らなくなり、日本文化の包摂性と表現すべき。道德の教科書では教えるべき徳目が想定されている。何を教え・伝えるべきかが問われる。

- ・『21 世紀の経営倫理』案、昨年度の反省について十分に話し合いが出来ず、次回に持ち越される。

配布物：2016 年度の部会報告・2016 年度の部会の会計報告・『21 世紀の経営精神』の目次、村山のペーパー、渋沢栄一記念館（深谷市）の案内、渋沢史料館の企画展示（渋沢栄一パリ万国博へ行く）、由井常彦先生講演（渋沢財団平成 29 年度会員総会、7 月 4 日）の案内、日経記事「リーダー本棚 スバル社長吉永泰之」（2017 年 4 月 15 日）

次回の予定 2017 年 5 月 22 日（月）18:00-20:00 日本経営道協会・企業家ミュージアム

- ・今年度の予定、『21 世紀の経営精神』の目次の検討
- ・緒賀氏の報告「教育史 教育勅語関連」

今後の予定の確認 毎月第 4 月曜日、（8 月以降変更有り）

6 月 26 日（月）18:00～20:00

7 月 24 日（月）18:00～20:00

以上